



## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 株式会社やまびこ 上場取引所 東  
 コード番号 6250 URL <https://www.yamabiko-corp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 久保 浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 石井 宏明 TEL 0428-32-6111  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	117,821	△3.1	13,253	39.9	13,796	25.2	9,051	10.4
2022年12月期第3四半期	121,610	8.2	9,475	△3.7	11,022	7.2	8,198	6.1

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 14,361百万円 (△10.0%) 2022年12月期第3四半期 15,955百万円 (58.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	217.54	—
2022年12月期第3四半期	197.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第3四半期	141,353	89,182	63.1	2,156.39
2022年12月期	141,198	77,373	54.8	1,859.47

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 89,182百万円 2022年12月期 77,373百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2023年12月期	—	26.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	△3.9	13,500	55.4	13,200	43.2	8,600	36.5	206.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	44,108,428株	2022年12月期	44,108,428株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	2,751,412株	2022年12月期	2,498,222株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	41,609,636株	2022年12月期3Q	41,589,371株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く市場環境につきましては、米国経済は引き続き良好な雇用環境が個人消費を下支えする一方で、長期化するウクライナ紛争や金融引き締めにより、世界経済の減速が懸念されるなど依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような環境の下、当社グループの主力である海外小型屋外作業機械（OPE：Outdoor Power Equipment）は、ホームセンターで改善が見られたものの、北米での金利上昇を受けて、代理店・販売店が在庫圧縮に動いていることから販売が減少しました。一方で、一般産業用機械は北米での旺盛な建設、エンターテインメント需要を背景に発電機の好調な販売が継続しました。

国内は、農林事業において肥料・燃料価格の高騰により農業従事者の購買意欲が減退したことに加え、長引く猛暑が刈払機等の買い替え需要に影響し販売が減少したものの、草刈作業の負担軽減に寄与するラジコン草刈機の新製品販売が好調に推移しています。国内の農林業が抱える就労人口の減少と高齢化という社会課題に対し、当社グループは引き続き省人・省力化につながる製品の開発に注力してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は次のとおりとなりました。

	2022年12月期 第3四半期連結累計期間	2023年12月期 第3四半期連結累計期間	増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	121,610	117,821	△3,789	△3.1
国内	34,682	32,105	△2,577	△7.4
海外	86,928	85,716	△1,212	△1.4
米州	72,113	71,143	△970	△1.3
その他海外	14,815	14,573	△242	△1.6
営業利益	9,475	13,253	3,777	39.9
経常利益	11,022	13,796	2,773	25.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,198	9,051	853	10.4

[売上高]

主力の海外は、北米市場の一般産業用機械が旺盛な建設、エンターテインメント需要を背景に発電機の好調な販売が継続したものの、小型屋外作業機械で金利上昇に伴う代理店・販売店の在庫圧縮や欧州各国で続いた干ばつなど天候不順の影響を受けて、販売が減少した結果、売上高は前年同期比1.4%減の857億円となりました。

国内は、農林事業が肥料・燃料価格の高騰による農業従事者の購買意欲減退に加え、長引く猛暑が刈払機等の買い替え需要に影響し販売が減少しました。一般産業用機械は発電機の部品調達遅延が解消され始めたことで堅調に推移したものの、溶接機の販売不振が継続したことで減収となりました。その結果、売上高は前年同期比7.4%減の321億円となり、当第3四半期連結累計期間の合計売上高は前年同期比3.1%減の1,178億円となりました。

[損益]

前期に積み上がった北米子会社の製品および生産用部材在庫の販売が順調に進んだことによる収益化に加え、昨年からの国内外で実施した価格改定やアクセサリ・サービス部品の増販、前年と比較して物流コストが大幅に低下したことなどが利益を押し上げ、併せて、円安に推移した為替が大きく影響し、営業利益は前年同期比39.9%増の132億円、経常利益は25.2%増の137億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は10.4%増の90億円となり、いずれも過去最高益となりました。

[セグメント別の概況]

① 小型屋外作業機械

	2022年12月期 第3四半期連結累計期間	2023年12月期 第3四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上高	百万円 88,730	百万円 84,380	百万円 △4,349	% △4.9
国内	12,157	11,359	△798	△6.6
海外	76,572	73,021	△3,551	△4.6

国内：肥料・燃料価格の高騰により、農業従事者の購買意欲が減退したことに加え、長引く猛暑が刈払機等の買い替え需要に影響したことで減収となりました。

海外：北米は金利上昇を受けて代理店・販売店が在庫圧縮に動いたことで販売が減少したほか、欧州においても引き続き各国での干ばつなどの天候不順の影響を補うことができず減収となりました。

② 農業用管理機械

	2022年12月期 第3四半期連結累計期間	2023年12月期 第3四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上高	百万円 19,802	百万円 19,257	百万円 △544	% △2.8
国内	13,230	12,159	△1,071	△8.1
海外	6,571	7,098	526	8.0

国内：草刈作業の省力化に寄与するラジコン草刈機の新製品が好調に推移したものの、農業従事者の購買意欲減退に加え、使用者の高齢化の影響もあり傾斜地の作業などで近年重大事故が発生していたスピードスプレーヤにおいて、安全対策を講じることを優先して販売停止したことによる影響を受けて減収となりました。

海外：北米は引き続き高値安定で推移した穀物価格市場に支えられ、高い需要が継続するなかで、部品調達遅延が解消され始めたことで、ポテト関連製品などの販売が好調に推移し増収となりました。

③ 一般産業用機械

	2022年12月期 第3四半期連結累計期間	2023年12月期 第3四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上高	百万円 11,634	百万円 12,735	百万円 1,100	% 9.5
国内	7,852	7,138	△713	△9.1
海外	3,782	5,596	1,814	48.0

国内：発電機の部品調達遅延が解消され始めたことで販売が伸長したものの、溶接機の販売不振や新製品の販売遅延の影響を補うことができず減収となりました。

海外：北米市場での旺盛な建設、エンターテインメント需要を背景に発電機の好調な販売が継続したことにより大幅な増収となりました。

④ その他

	2022年12月期 第3四半期連結累計期間	2023年12月期 第3四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上高	百万円 1,443	百万円 1,447	百万円 4	% 0.3

主要3事業以外の売上高は、主要セグメントに含まれない生産子会社の売上高や商品等で構成されています。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1億54百万円増加し、1,413億53百万円となりました。

その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加36億2百万円、商品及び製品の増加13億55百万円、仕掛品の減少18億56百万円、現金及び預金の減少15億7百万円等によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて116億54百万円減少し521億71百万円となりました。

その主な要因は、借入金の減少123億84百万円、賞与引当金の増加12億2百万円、未払法人税等の減少9億85百万円、関係会社清算損失引当金の増加6億6百万円等によるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて118億9百万円増加し891億82百万円となりました。

その主な要因は、利益剰余金の増加68億83百万円、為替換算調整勘定の増加49億23百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ8.3ポイント増加し、63.1%となりました。

④ キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローが177億18百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが33億53百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが164億32百万円の支出となりました。その結果、当第3四半期連結会計期間末の資金残高は126億72百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益130億6百万円、減価償却費32億84百万円、売上債権の増加額12億41百万円、棚卸資産の減少額61億30百万円、仕入債務の減少額24億61百万円、法人税等の支払額37億4百万円等により、177億18百万円の収入（前年同四半期は88億53百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出33億30百万円等により、33億53百万円の支出（前年同四半期は27億55百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減少額133億74百万円、配当金の支払額20億76百万円等により、164億32百万円の支出（前年同四半期は141億2百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況などを勘案し、連結業績予想の見直しを行った結果、2023年8月10日に公表いたしました2023年12月期の通期連結業績予想を修正いたしました。

売上高は、前回の見直し公表時から更に円安ドル高が進行したことを受けて、30億円上方修正した1,500億円といたします。損益につきましては、想定以上の物流コストの減少に加え、一部原材料価格の低下、北米の小型屋外作業機械事業における売上構成の変化による利益率の改善もあり、営業利益を10億円増の135億円、経常利益を10億円増の132億円、親会社株主に帰属する四半期純利益を10億円増の86億円といたします。

なお、今後の為替レートは、直近の為替状況を鑑み1USドル=140円(前回135円)に修正し、1ユーロ=150円は据え置きといたします。

2023年12月期通期連結業績予想数値の修正(2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
期初予想 (2023年2月13日)	百万円 157,000	百万円 13,500	百万円 12,800	百万円 8,300	円 銭 199.55
前回発表予想(A)	147,000	12,500	12,200	7,600	182.54
今回発表予想(B)	150,000	13,500	13,200	8,600	206.68
増減額(B-A)	3,000	1,000	1,000	1,000	—
増減率(%)	2.0	8.0	8.2	13.2	—

(ご参考)前期実績

(2022年12月期) 156,159 8,688 9,217 6,299 151.45

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,404	12,896
受取手形及び売掛金	27,947	31,550
電子記録債権	3,796	3,974
商品及び製品	31,752	33,107
仕掛品	4,642	2,786
原材料及び貯蔵品	19,359	18,644
その他	3,974	2,914
貸倒引当金	△316	△346
流動資産合計	105,559	105,527
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,673	8,686
土地	7,720	7,818
その他（純額）	9,581	9,596
有形固定資産合計	25,975	26,101
無形固定資産	996	1,506
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	2,749	2,670
その他	6,257	5,871
貸倒引当金	△339	△325
投資その他の資産合計	8,667	8,217
固定資産合計	35,639	35,825
資産合計	141,198	141,353

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,898	8,044
電子記録債務	13,390	12,875
短期借入金	17,019	7,288
1年内返済予定の長期借入金	4,257	6,903
未払法人税等	1,793	808
賞与引当金	—	1,202
製品保証引当金	1,063	1,229
厚生年金基金解散損失引当金	475	134
関係会社清算損失引当金	—	606
その他	7,637	7,842
流動負債合計	53,533	46,936
固定負債		
長期借入金	8,100	2,800
退職給付に係る負債	44	48
製品保証引当金	510	489
厚生年金基金解散損失引当金	76	—
役員株式給付引当金	246	170
その他	1,313	1,726
固定負債合計	10,291	5,235
負債合計	63,825	52,171
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	9,286	9,286
利益剰余金	54,305	61,189
自己株式	△743	△1,127
株主資本合計	68,847	75,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,054	1,487
為替換算調整勘定	6,741	11,664
退職給付に係る調整累計額	729	682
その他の包括利益累計額合計	8,525	13,834
純資産合計	77,373	89,182
負債純資産合計	141,198	141,353

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	121,610	117,821
売上原価	88,576	80,146
売上総利益	33,034	37,675
販売費及び一般管理費	23,558	24,421
営業利益	9,475	13,253
営業外収益		
受取利息	3	19
受取配当金	51	55
為替差益	1,621	877
持分法による投資利益	47	—
その他	159	196
営業外収益合計	1,884	1,148
営業外費用		
支払利息	297	565
支払手数料	16	16
持分法による投資損失	—	0
その他	23	23
営業外費用合計	337	605
経常利益	11,022	13,796
特別利益		
固定資産売却益	3	27
投資有価証券売却益	44	20
特別利益合計	48	48
特別損失		
固定資産除売却損	33	19
関係会社清算損	—	818
特別損失合計	33	838
税金等調整前四半期純利益	11,037	13,006
法人税、住民税及び事業税	3,469	2,836
法人税等調整額	△630	1,118
法人税等合計	2,838	3,954
四半期純利益	8,198	9,051
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,198	9,051

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	8,198	9,051
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△215	433
繰延ヘッジ損益	△80	—
為替換算調整勘定	8,086	4,906
退職給付に係る調整額	△22	△47
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	16
その他の包括利益合計	7,756	5,309
四半期包括利益	15,955	14,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,955	14,361

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,037	13,006
減価償却費	2,927	3,284
関係会社清算損益 (△は益)	—	818
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△13	9
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△5	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11	△22
受取利息及び受取配当金	△55	△74
支払利息	297	565
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,226	1,202
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,356	△1,241
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,687	6,130
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,474	△2,461
未収消費税等の増減額 (△は増加)	543	1,329
持分法による投資損益 (△は益)	△47	0
厚生年金基金解散損失引当金の増減額 (△は減少)	△418	△417
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△7	△75
その他	△610	△112
小計	△5,657	21,946
利息及び配当金の受取額	45	66
持分法適用会社からの配当金の受取額	49	—
利息の支払額	△292	△590
法人税等の支払額	△2,998	△3,704
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8,853	17,718
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,796	△3,330
有形及び無形固定資産の売却による収入	14	27
定期預金の預入による支出	△128	△207
定期預金の払戻による収入	64	138
その他	90	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,755	△3,353
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	17,397	△13,374
長期借入れによる収入	1,000	1,300
長期借入金の返済による支出	△1,000	△1,300
配当金の支払額	△2,864	△2,076
自己株式の取得による支出	△0	△485
その他	△430	△496
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,102	△16,432
現金及び現金同等物に係る換算差額	887	468
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,380	△1,598
現金及び現金同等物の期首残高	12,110	14,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,491	12,672

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年8月10日開催の取締役会決議に基づき、取締役及び執行役員向け株式交付信託への追加信託を行い、信託において当社株式317,000株の取得が行われました。信託に残存する当社株式は自己株式として計上しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が4億84百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が11億27百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小型屋外作業 機械	農業用管理 機械	一般産業用 機械	計			
売上高							
日本	12,157	13,230	7,680	33,069	1,436	—	34,505
米州	62,846	6,424	2,842	72,113	—	—	72,113
欧州	11,222	0	329	11,552	2	—	11,554
その他	2,504	147	609	3,261	0	—	3,261
顧客との契約から生じる収益	88,730	19,802	11,462	119,995	1,438	—	121,434
その他の収益(注) 4	—	—	171	171	4	—	176
外部顧客への売上高	88,730	19,802	11,634	120,167	1,443	—	121,610
セグメント間の内部売上高又は振替高	58,257	10,597	9,237	78,092	838	△78,930	—
計	146,987	30,399	20,872	198,259	2,281	△78,930	121,610
セグメント利益	13,539	861	931	15,332	266	△6,124	9,475

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額△6,124百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく賃貸収入等であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小型屋外作業 機械	農業用管理 機械	一般産業用 機械	計			
売上高							
日本	11,359	12,159	6,981	30,500	1,443	—	31,943
米州	59,880	6,999	4,262	71,143	—	—	71,143
欧州	11,013	0	355	11,368	—	—	11,368
その他	2,127	98	979	3,204	—	—	3,204
顧客との契約から生じ る収益	84,380	19,257	12,578	116,216	1,443	—	117,660
その他の収益(注) 4	—	—	156	156	4	—	161
外部顧客への売上高	84,380	19,257	12,735	116,373	1,447	—	117,821
セグメント間の内部売 上高又は振替高	43,164	9,984	10,365	63,514	843	△64,358	—
計	127,544	29,242	23,100	179,888	2,290	△64,358	117,821
セグメント利益	17,123	1,546	1,609	20,279	285	△7,311	13,253

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額△7,311百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。